

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 4 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営理念を職員全員で共有・実践できているか。	日々の認知症ケアにおいて、判断に迷ったりした際に運営理念に立ち戻り、職員全員で実践できる環境をつくる。	毎月のカンファレンスにおいて、運営理念に沿った地域の中で人間の尊厳を大切にしながら生活を送るにはどうしたらよいかを、検証し実践できるように話し合いを行います。	6ヶ月
2	4	運営推進会議の開催回数が少ない	3、4ヶ月の間に1度開催し、徐々に回数を増やす。	地域包括支援センター及び市担当職員へ相談し、助言をいただきながら自治会との関係を構築し、地域に根ざしたホーム運営を目指します。	4ヶ月
3	10	利用者家族同士の横のつながりが少ない	利用者家族同士の横のつながりをつくる。	毎月の外出行事等へご家族をお誘いし、ご家族同士顔を合わせられる機会を増やし、ゆくゆくは家族会が設立できるよう工夫してまいります。	2ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けた方針の確立	ご家族の思いを汲んだ、主治医との医療連携体制の確立	各利用者ご家族からのモニタリングのもと、主治医と連携体制の構築に勤め、それに伴う職員研修を継続開催してまいります。	12ヶ月
5	35	災害発生時に地域との協力体制が築けていない	自治会及び地元消防団との協力体制を構築する。	職員全員で話し合いを行ない、必要とされる協力体制を導き出し、運営推進会議を活用し、近隣の皆様との災害発生時の相互協力体制を構築します。	4ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。